

デジタルツイン、メタバースを実現

F8VPS FORUM8 VIRTUAL PLATFORM SYSTEM Web VRプラットフォーム



▲メタバース体験を実施 (CEATEC 2022 フォーラムエイト展示ブース)

フォーラムエイト

Web VRプラットフォーム

フォーラムエイト(東京都港区、伊藤裕二社長)は、2020年にデジタルツイン、メタバースを構築・展開可能なWeb VRプラットフォーム「F8VPS(フォーラムエイトバーチャルプラットフォームシステム)」をリリースしており、現在、リアル展示会が再開しつつある中で、F8VPSを前面に出展する機会が増えている。

「XR総合展 秋」で体験型展示

F8VPSは、3DV R空間をクラウドで展開可能なアプリのフレームワーク。PC、タブレット、スマホなどのWebブラウザで、アバターを用いて現実と同様のリアルタイムコミュニケーションができるクラウドシステムとして、都市空間、バーチャルオフィス、バーチャルショールーム、バーチャル工場見学など、顧客の目的や要望に応じたメタバースのシーンを自由に作成可能。展示会には積極的に出展している同社だが、「第2回XR総合展 秋(10月26-28日/幕張メッセ)」では、「デジタル世界を来場者に体験してもらう」と話す。また「テレワークに活用できるバーチャルオフィスの他に、広報・PR、販促などを目的とした空間やイベントなど、さまざまな用途で活用できる。

フォーラムエイトが主催する「FORUM8 3Days+1 Eve」が、11月15-18日(15日は前夜祭)に東京都港区の品川インターシティホールで開催される。このイベントでは毎年新たなソフトウェア、システム事例、研究開発が発表される。今年も、デジタルツインやメタバースが急速に認知され、VR、XRの活用、XR TechによるDXへの展開など企業、国、自治体での動きが活発化した。そこで生まれる新しい働き方、企業活動での大きな変化が注目されている。

【前夜祭】15日の前夜祭は「再会 REUNION」をテーマに、新田氏は「当社ではWin/Road」シリーズを中心としたシミュレーションシステムを構築してきた実績がある。これを背景に開発したF8VPSは、あらゆる業種に対応し、ユーザーごとの新しい使い方を作り出していく」と話す。同社は、WRC(世界ラリー選手権)2022の公式スポンサーを務める日本ラウンドのフォーラムエイトラリースタッフが11月10日から開催されるが、これに関連して「バーチャルラリージャン」の空間を作成、F8VPSでのメタバース体験を提供する予定だ。同社は創業以来、ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、構築物設計をはじめ、土木・建築設計を支援するソフトウェア・技術サービスを提供してきた。基幹ソフトウェア「UC-win/Road」シリーズは、VRを中心としたシミュレーションシステムとして、土木・建築や交通・自動車、そしてエンターテインメント分野などで利用が広がっている。F8VPSのリリースで、さらに多くの分野で利用されるようになってきている。

デザインフェスティバル開催 3年ぶりにリアル会場を実施

フォーラムエイトが主催する「FORUM8 3Days+1 Eve」が、11月15-18日(15日は前夜祭)に東京都港区の品川インターシティホールで開催される。このイベントでは毎年新たなソフトウェア、システム事例、研究開発が発表される。今年も、デジタルツインやメタバースが急速に認知され、VR、XRの活用、XR TechによるDXへの展開など企業、国、自治体での動きが活発化した。そこで生まれる新しい働き方、企業活動での大きな変化が注目されている。

【前夜祭】15日の前夜祭は「再会 REUNION」をテーマに、新田氏は「当社ではWin/Road」シリーズを中心としたシミュレーションシステムを構築してきた実績がある。これを背景に開発したF8VPSは、あらゆる業種に対応し、ユーザーごとの新しい使い方を作り出していく」と話す。同社は、WRC(世界ラリー選手権)2022の公式スポンサーを務める日本ラウンドのフォーラムエイトラリースタッフが11月10日から開催されるが、これに関連して「バーチャルラリージャン」の空間を作成、F8VPSでのメタバース体験を提供する予定だ。同社は創業以来、ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、構築物設計をはじめ、土木・建築設計を支援するソフトウェア・技術サービスを提供してきた。基幹ソフトウェア「UC-win/Road」シリーズは、VRを中心としたシミュレーションシステムとして、土木・建築や交通・自動車、そしてエンターテインメント分野などで利用が広がっている。F8VPSのリリースで、さらに多くの分野で利用されるようになってきている。

技術動向や事例発表 オンラインでも

【Day1】初日(16日)には、自動運転に関する講演を数多く実施する。自動運転の開発・進化の流れは今後も継続的に続くもの

【Day2】17日には、特別講演と「デザインを本質から変えるための思考法」をテーマに、前川宏一氏を招き、特別講演を実施。

【Day3】18日は、WCOMD開発のコンクリート工学研究の第一人者、横浜国立大学教授、前川宏一氏を招き、特別講演を実施。

【Day4】19日は、WCOMD開発の第一人者、横浜国立大学教授、前川宏一氏を招き、特別講演を実施。